

ともに歩む株主 経営に寄り添う株主^④

特定の利害にとらわれず客観的な視点で 事業承継の悩みに応える

私が今、主に取り組んでいることの1つは、事業承継全般の支援です。

当社では、投資先企業とのお付き合いが長期にわたるため、その間に世代交代の時期を迎えることが少なくありません。事業承継の際には、経営者の保有株の承継や、株式の分散防止、集約化といった資本政策に関する課題への対応を求められることが多々ありますが、投資先企業にとって相談相手は限られ、問題解決に向けた提案を行うには税務や会社法、民法などの多面的な知識が不可欠です。

こうした中、身近な相談相手として、長期安定株主である当社にお問い合わせをいただくケースが多くありますが、普段、投資先企業を訪問している当社の担当者だけではご期待に沿えない問題の解決を、公認会計士・税理士としての専門

性を活かしながらサポートしています。

その際には、当社が長期安定株主として投資先企業の健全な成長発展を支援する立場にあるため、特定の利害にとらわれず客観的なアドバイスができることが大きな強みになっています。なかには、資本政策について様々な提案を受けて悩まれている場合に、客観的な視点から自社の課題や提案内容を整理・比較することで喜んでいただくこともあります。自分自身にとって、このような立場で仕事ができることはありがたく、誇りでもあり、その結果として投資先企業から感謝の言葉をいただけるのは専門家冥利に尽きます。

私が、もう1つ力を入れているのが情報発信です。これまで蓄積してきた豊富な事例を背景に、『中小企業が直面する

「株式」の課題と解決策』（清文社）という著書を2015年10月に出版しました。

また中小企業の経営者、税理士、金融機関の職員などに向けて、セミナーや勉強会の講師も多数引き受けています。中小企業の事業承継に関する話題が多く、最近では、今年4月に拡充された事業承継税制や近年増加傾向にある親族外承継について話すことが多いですね。

とくに中小企業向けの講演では、経営者の意思決定に役立つ材料を提供することを意識しています。その材料の中から、自社に合った解決策を、時間をかけて検討していただければ嬉しいです。講演後の懇親会などの席で「参考になった」とか「わかりやすかった」と声をかけていただくことが、自分にとって大きな励みになっています。



東京中小企業投資育成
ビジネスサポート部 公認会計士・税理士
中野威人さん(44歳)

- 1974年 千葉県生まれ
- 1996年 慶應義塾大学経済学部卒業
大手監査法人に約10年勤務し、
上場会社の法定監査業務や上場
準備会社への上場支援業務など
に携わる
- 2007年 東京中小企業投資育成入社